



第17回渋川市たちばな竹の里フェスティバル 「竹」をテーマにした催しを楽しむ

10月21・22日に北橋行政センターと北橋公民館で、第17回渋川市たちばな竹の里フェスティバルを開催しました。県内各地から集まった竹工芸品の展示や竹灯籠でチョウの羽をかたどった竹と光のページェント、竹太鼓の演奏会や地元八木節団体の発表などを実施。来場者は、北橋地区の特色である竹に関するさまざまな催しを楽しみました。



第28回赤城ふれあいまつり ふるさとの魅力を楽しみながら再発見

10月21・22日に赤城公民館で、赤城ふれあいまつりが行われました。初日は、産業祭として、地域農産物等の販売や地域で活動する団体などが啓発活動を実施。また、文化発表会として、赤城地区の小中学生や文化活動団体の作品展示が行われ、幅広い年代の来場者が、楽しみながらふるさと「あかぎ」の魅力を再発見する機会となりました。



第20回縄文まつり 1万3千年前の生活を体験



10月28日に北橋歴史資料館・たちばなの郷公園で、縄文まつりが行われました。弓矢を使った鹿狩り、火おこし、まが玉づくりなど6種類の体験コーナーがあり、親子連れを中心に228人が来場。鹿狩り体験を行った小学生は、「難しかったけど楽しかった」と話していました。

しぶかわ市民まなびの日 大人も子どもも“まなび”を楽しむ



11月4日に市民会館で、しぶかわ市民まなびの日を開催しました。関係団体の活動を紹介するパネル展示や舞台発表、各種体験コーナーを実施。自分が描いた料理の絵が動き、遊び感覚で食生活などについて学べる体験コーナーでは、大人も子どもも学ぶことを楽しんでいました。

第29回全国創作こけし美術展in渋川 個性的なこけしが来場者を魅了



11月1日から7日まで市民会館で、第29回全国創作こけし美術展in渋川～創作こけしとその作家たち～を開催しました。今回は、国内外で創作活動をしている45人の作家による、計127点の作品を展示。作家の個性があふれ出る作品に、来場者は興味深く見入っていました。

上三原田の歌舞伎舞台2023 見事な演技に飛び交うおひねり



11月3日に上三原田の歌舞伎舞台で、年に1度の公演が行われました。操作伝承委員会の舞台操作や三原田小歌舞伎クラブの「白波5人男『稲瀬川勢揃いの場』」などが披露され、出演者たちの見事な姿に、観客から大きな拍手とたくさんのおひねりが送られました。

津久田人形芝居櫻座生誕300年祭 情緒豊かな人形操作に歓声

10月14日に県指定重要有形民俗文化財・津久田の人形舞台で、「津久田人形芝居櫻座生誕300年祭」が行われました。津久田人形操作伝承委員会や津久田小学校人形クラブ、手作り人形劇つ組が公演し、巧みな人形操作で観客を魅了。拍手や歓声のほか、おひねりが飛ぶなど、来場者は歴史ある伝統芸能を堪能しました。



共生社会の実現を目指すチャリティダンス大会 収益の一部を車いすの寄付に

10月21日に金島ふれあいセンターで、渋川ライオンズクラブ主催のチャリティダンス大会が開催されました。これは、収益の一部を車いすの寄付に充てる大会で、7チームの77人がダンスを披露。表彰式では、車いすダンスをしている芝崎璃海さんがプレゼンターを務め、寄付への感謝と今後の抱負を語りました。

